

日比谷線の乗降者数の推移



2020年12月



株式会社リアルプロ・ホールディングス

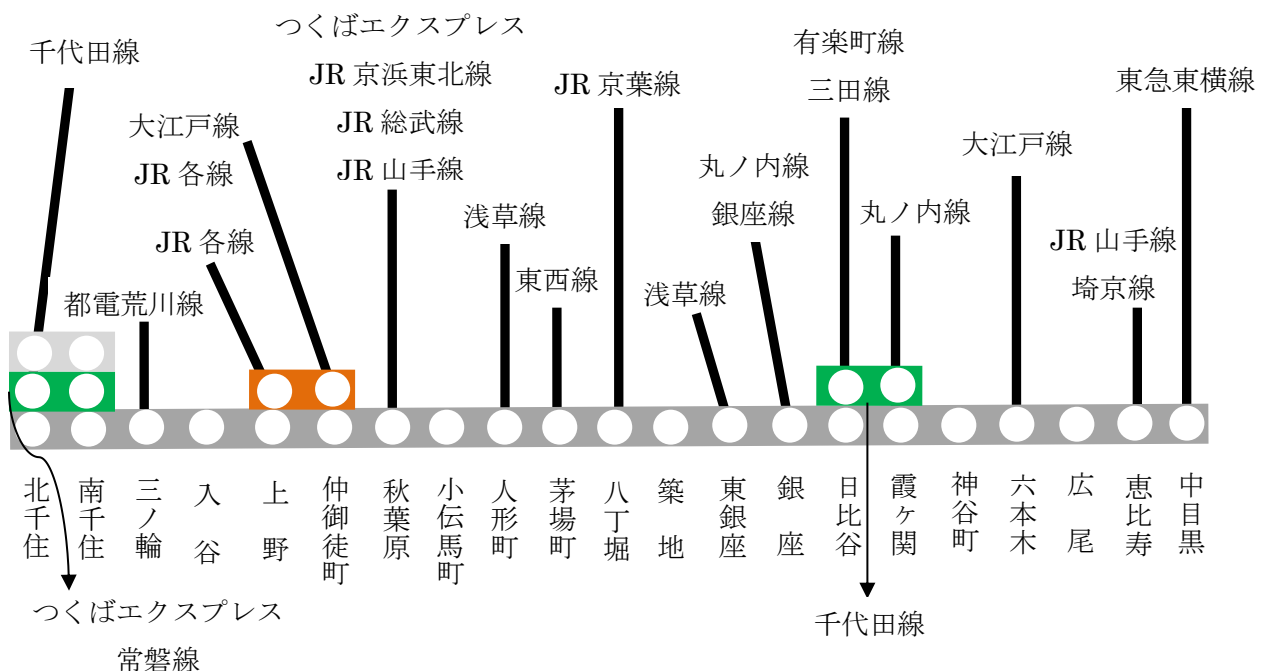
日比谷線は都内の北東に位置する東京都足立区「北千住駅」と西南の目黒区「中目黒駅」を上野、銀座、六本木といった都心の主要部分を結ぶ路線です。路線名の由来は日比谷公園から名付けられました。日比谷線は当初は東急東横線の利用客が多いと見越していましたが、日比谷線が東武伊勢崎線とつながった事により、沿線の開発が急速に進み、東武伊勢崎線からの利用客が急増し東武伊勢崎線からの車両乗り入れを強化したというエピソードがあります。

1961年（昭和36年）3月28日、「南千住駅」～「仲御徒町駅」間が開業。1962年（昭和37年）5月31日「北千住駅」～「南千住駅」、「仲御徒町駅」～「人形町駅」間がそれぞれ開業し、東武伊勢崎線「北越谷駅」まで相互直通運転を開始しました。その後、順次延伸し、1964年（昭和39年）8月29日、「東銀座駅」～「霞ヶ関駅」間が開業し、全線が開通し、東急東横線「日吉駅」まで相互直通運転が開始されました。1966年（昭和41年）9月1日には東武伊勢崎線への乗り入れ区間を「北春日部駅」まで延長しました。

2001年（平成13年）3月28日、東急東横線方面からの乗客が2000年（平成12年）9月28日に開業した「東急目黒線-南北線・三田線」ルートに転移していることからダイヤ改正を行ない、東急東横線との相互直通列車が削減されました。2006年（平成18年）3月27日から女性専用車を導入しました。

営業キロ数 20.3 km
 駅数 21 駅

【東京メトロ日比谷線の路線図】



【東京メトロ日比谷線の1日平均乗降者の推移】

駅名	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
北千住	307,759	309,767	312,850	318,944	324,485	325,197
南千住	27,571	28,375	29,220	30,040	31,398	31,245
三ノ輪	36,553	37,549	39,203	41,249	42,833	43,601
入谷	29,891	31,184	32,324	33,644	35,426	36,129
上野	122,213	123,617	126,414	129,983	133,603	134,155
仲御徒町	41,888	41,608	41,621	42,495	43,337	43,532
秋葉原	121,231	121,296	123,156	125,932	127,725	124,430
小伝馬町	37,571	38,214	39,025	39,847	41,304	41,132
人形町	78,936	80,257	81,472	82,595	86,034	84,628
茅場町	180,117	183,386	186,317	188,753	191,277	184,026
八丁堀	103,982	106,551	109,064	111,924	116,977	117,546
築地	70,662	74,029	75,866	77,518	80,724	76,669
東銀座	80,141	84,356	88,023	90,621	91,844	91,855
銀座	167,351	170,978	175,483	182,218	182,253	172,481
日比谷	121,292	125,799	129,508	133,168	145,607	129,011
霞ヶ関	129,346	134,439	137,835	139,900	141,176	140,688
神谷町	96,611	98,464	97,623	99,610	102,539	106,952
六本木	130,022	132,937	134,371	134,908	138,958	133,170
広尾	58,864	60,333	61,620	63,049	63,171	62,588
恵比寿	107,471	111,149	115,726	118,260	119,939	117,796
中目黒	215,568	221,142	224,957	229,306	230,956	230,353
計	2,265,040	2,315,430	2,361,678	2,413,964	2,471,566	2,427,184

※東京メトロと関東交通広告協議会が公表している1日平均乗降者数は複数線が乗り入れる駅によっては集計方法により人数に違いが生じていますが、ここでは関東交通広告協議会の数値を採用しています。

